

みんなで未来の医療をつくる
「治験」って知ってる？
(アンケート回)

開催日：2025年11月14日（金）～2025年11月30日（日）

調査概要

① 調査テーマ

- ・ みんなで未来の医療をつくる。「治験」って知ってる？

② 調査対象

- ・ 高校生年代～20代のぷらすメンバー

③ 回収状況

- ・ 回答数：59件

④ 調査方法

- ・ WEB アンケート調査

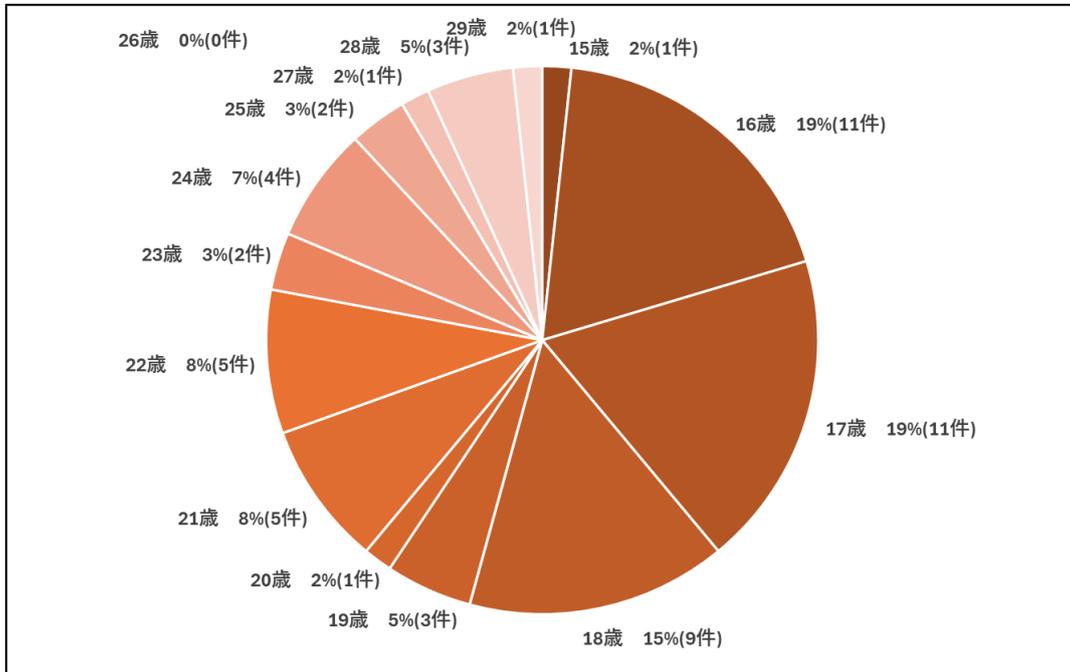
⑤ 調査期間

- ・ 2025年11月14日（金）～2025年11月30日（日）

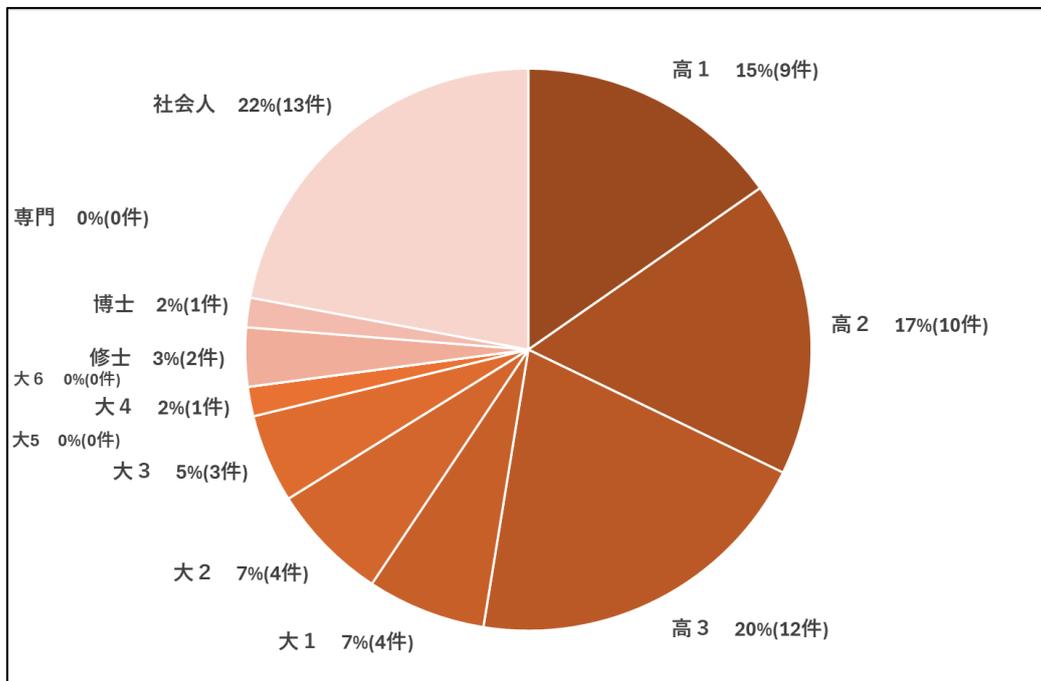
本資料は、いけんひろば参加者個人のご意見を記載したものです。本資料の記載内容は、政府としての見解や評価ではありません。なお、参加者個人の特定や、特定の個人や団体等への直接的な批判につながる恐れがある発言については、発言の趣旨を改変しない形で修正しています

調査結果

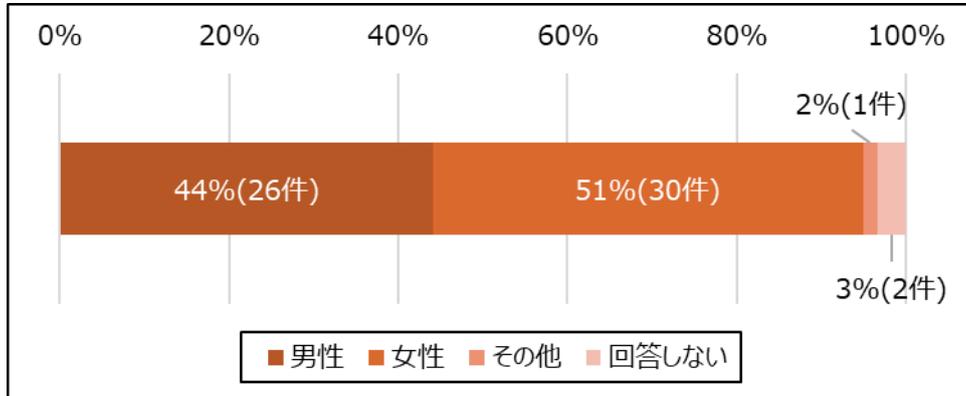
Q1 あなたの年齢を教えてください。



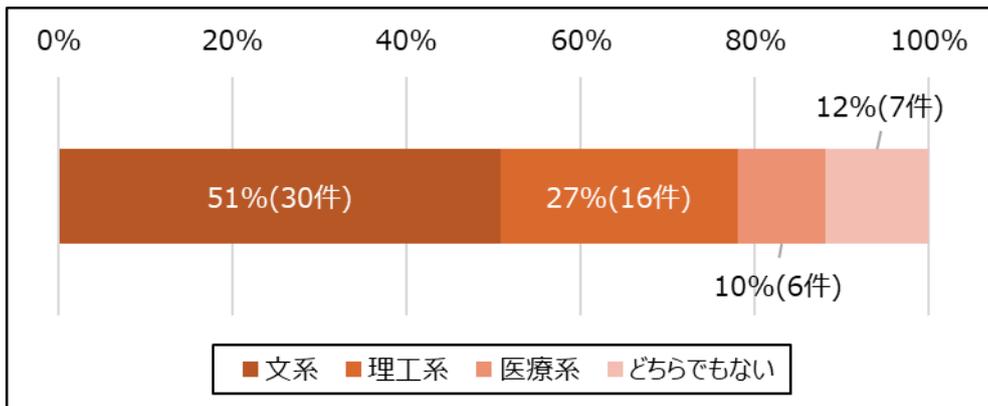
Q2 あなたの学年を教えてください。



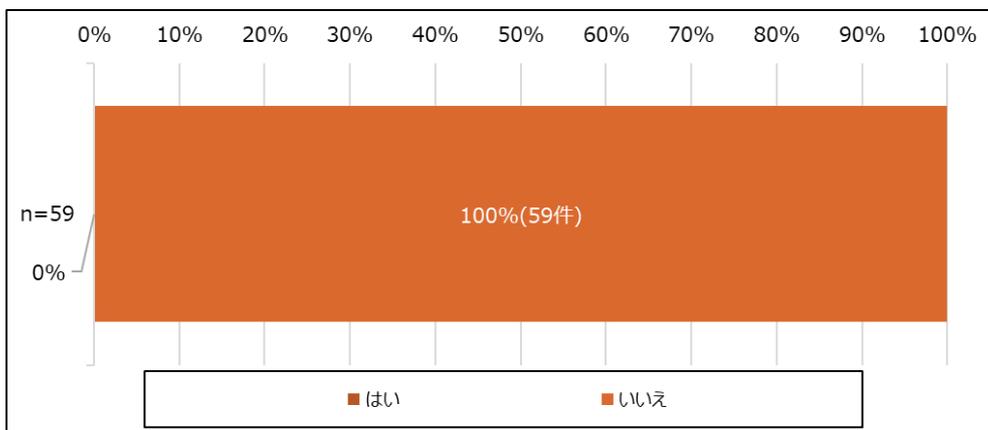
Q3 あなたの性別をお答えください。



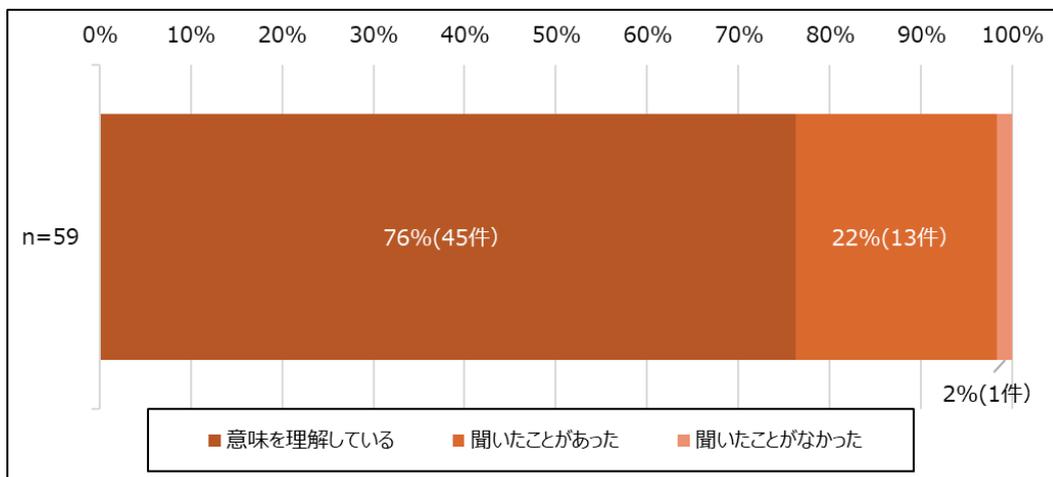
Q4 あなたの専攻（学んでいる分野）を教えてください。



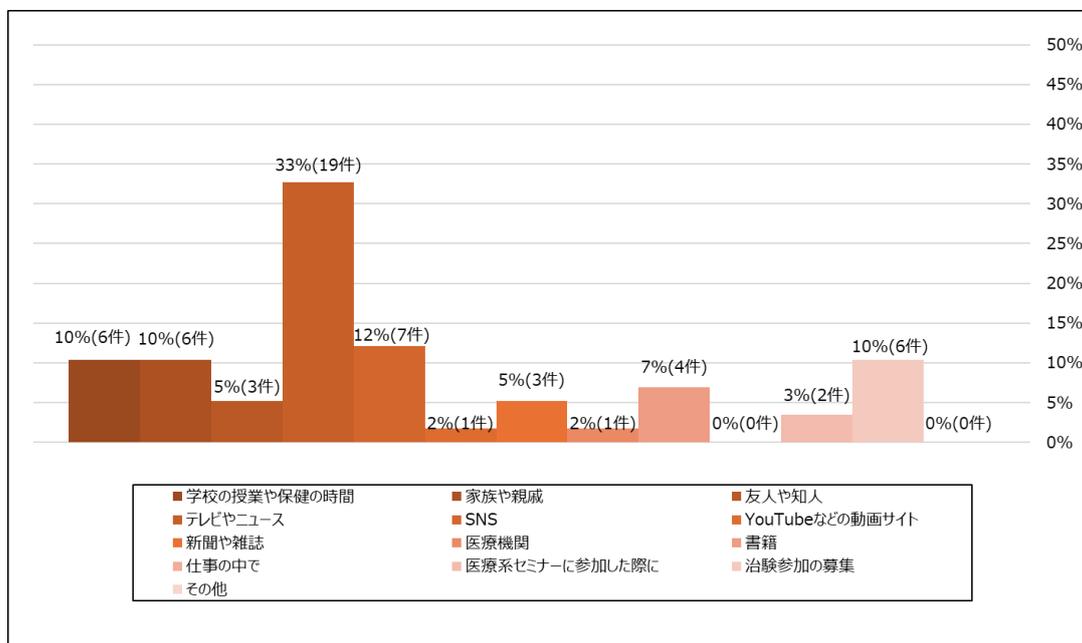
Q5 今までに治験に参加したことはありますか。



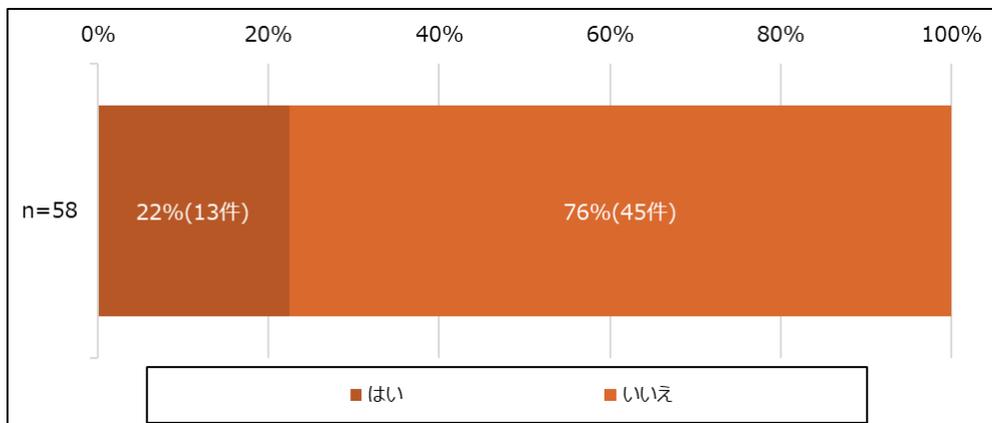
Q6（説明資料を読んだ上でお答えください。）今回のいけんひろばの前に「治験」を知っていましたか？



Q6-1（Q6で「意味を理解している」「聞いたことがあった」と答えた方）「治験」をどこで知りましたか？



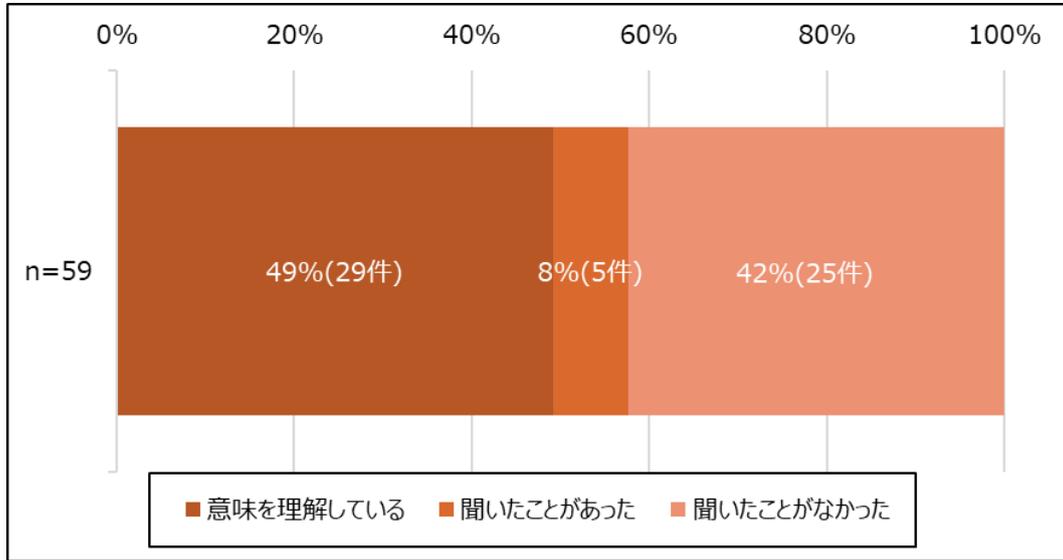
Q6-2 (Q6で「意味を理解している」「聞いたことがあった」と答えた方) 今回のいけんひろばで治験に対するイメージが変わりましたか？



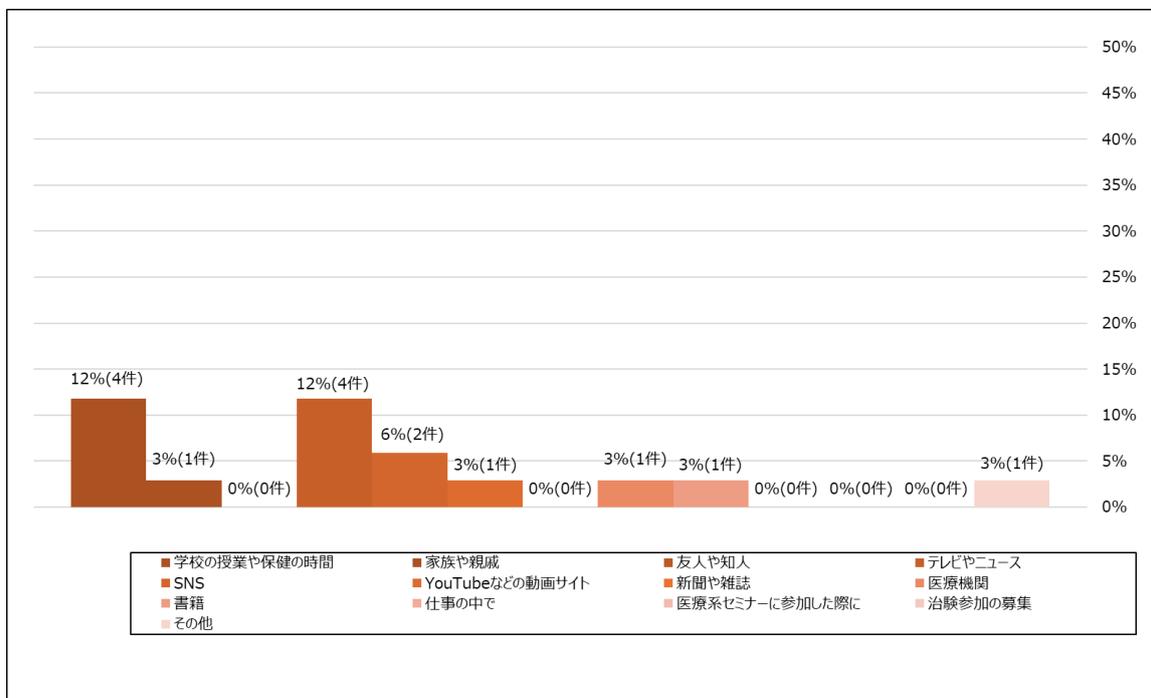
Q6-3 (Q6で「聞いたことがなかった」と答えた方) 今回のいけんひろばで治験というのを知って、どのようなイメージを持ちましたか？

- ・ 一般に使用できるようになるまでにとっても長くかかること
- ・ 自分が赤ん坊の時に治験を勧められたけれども後遺症が怖くて断ったと母から聞いていました。治験により新薬が治療に役立つ事があると知り少しイメージが変わりました。
- ・ 危険なものであるという先入観しかなかったが、なくてはならないものであると思うようになった

Q7（説明資料を読んだ上でお答えください。）今回のいけんひろばの前に「プラセボ」を知っていましたか？



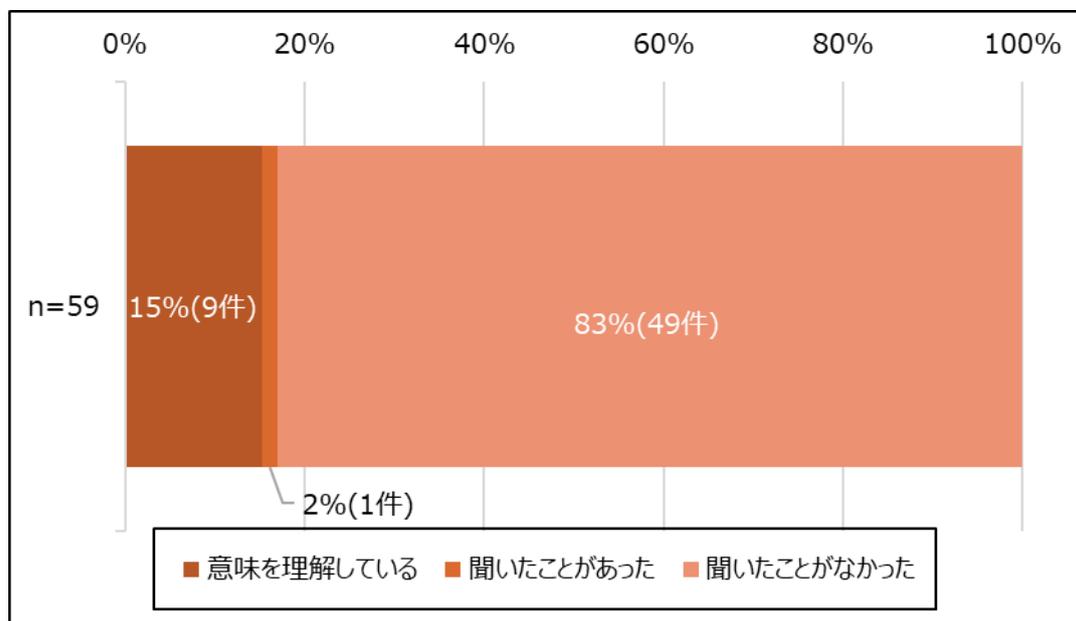
Q7-1（Q7で「意味を理解している」「聞いたことがあった」と答えた方）「プラセボ」をどこで知りましたか？



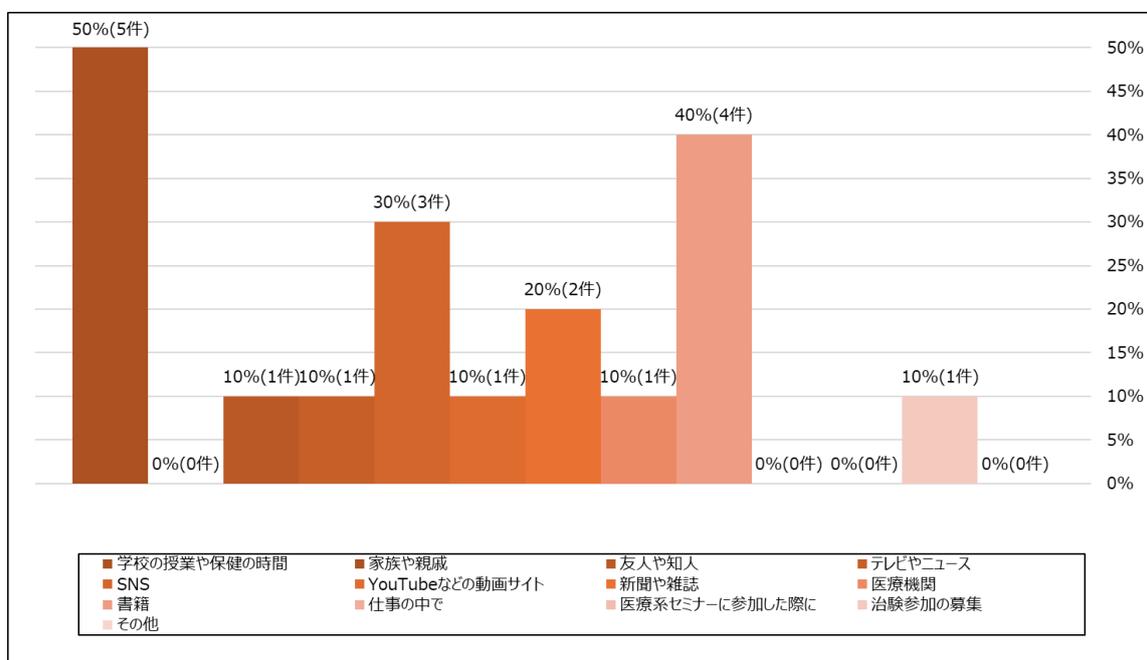
その他の回答

- ・ ラジオ

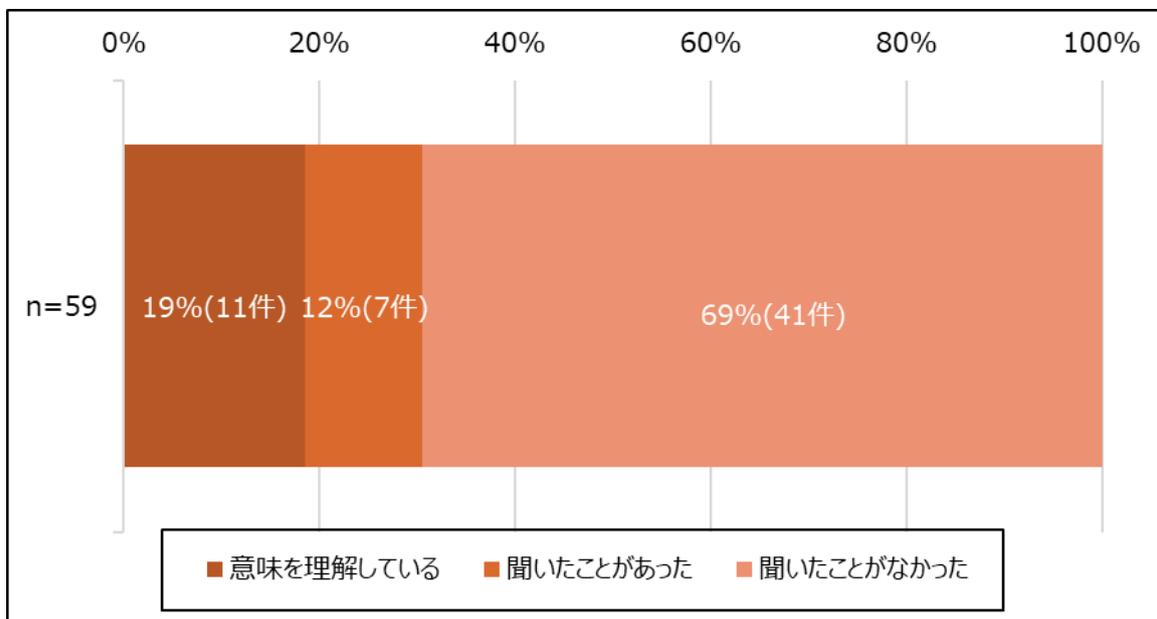
Q8（説明資料を読んだ上でお答えください。）今回のいけんひろばの前に「二重盲検」を知っていましたか？



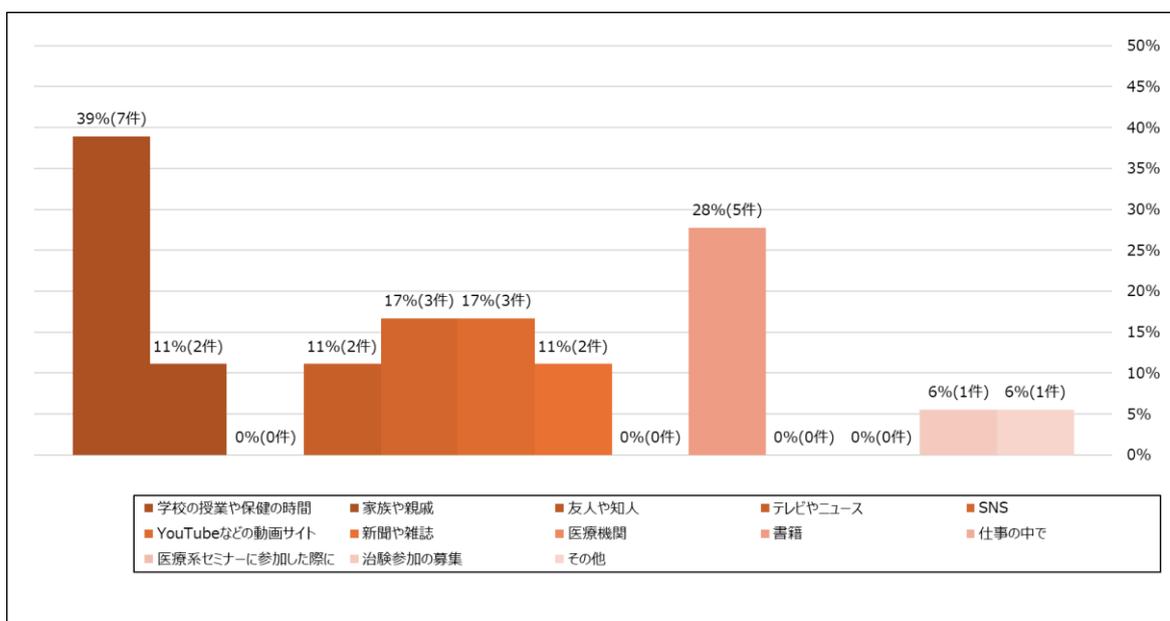
Q8-1（Q8で「意味を理解している」「聞いたことがあった」と答えた方）「二重盲検」をどこで知りましたか？



Q9（説明資料を読んだ上でお答えください。）今回のいけんひろばの前に「ランダム化」を知っていましたか？



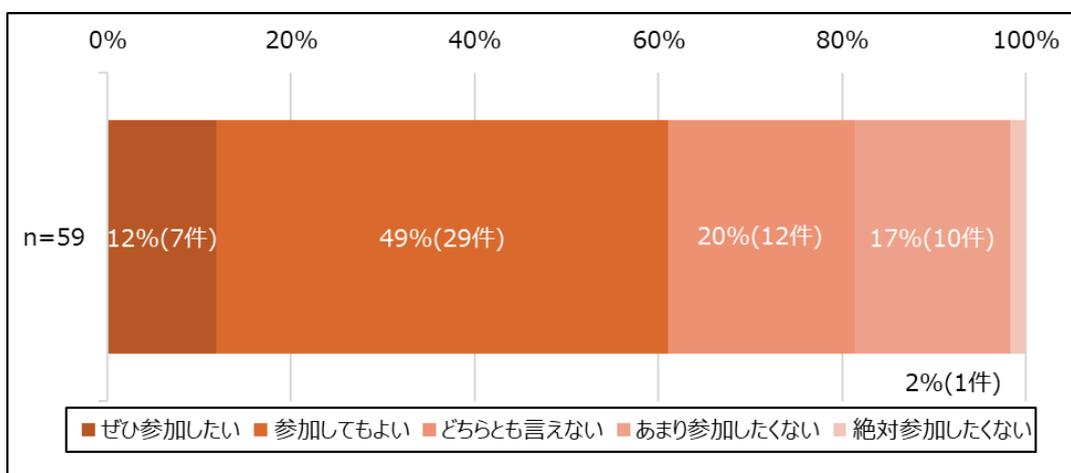
Q9-1（Q9で「意味を理解している」「聞いたことがあった」と答えた方）「ランダム化」をどこで知りましたか？



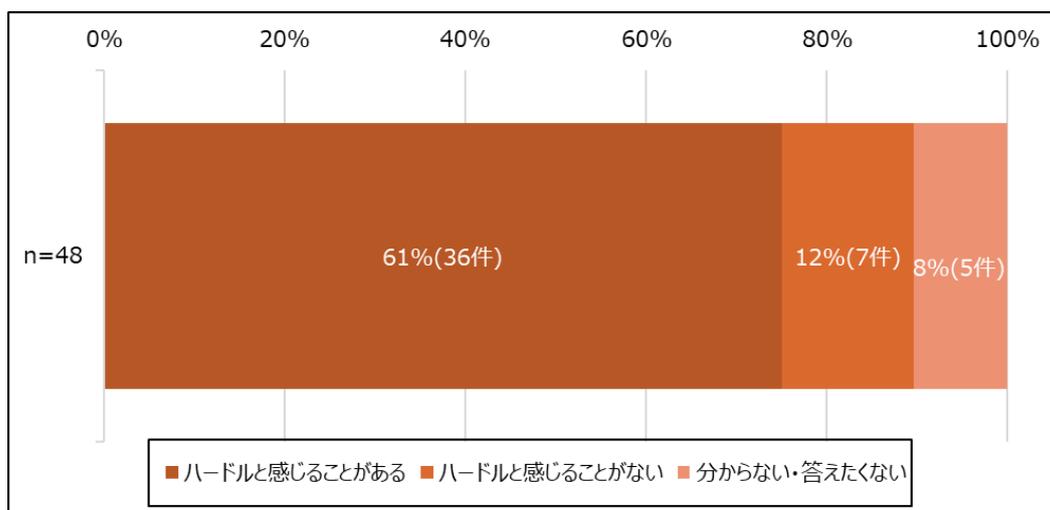
その他の回答

- ランダム化という言葉は知らなかったが治験とプラセボの話のときに仕組みとして同時に話された。また、実験の手法としてランダムにするだろうという認識がある。

Q10 あなたが患者の立場になったとき、治験に参加したいですか？



Q10-1 (Q10で「ぜひ参加したい」「参加してもよい」「どちらとも言えない」と答えた方) 治験に参加するにあたって、どのようなことがハードルだと感じますか？



Q10-2 (Q10-1で「ハードルと感ずることがある」と答えた方) どのようなことがハードルだと感ずるか、具体的に教えてください。

- ・ 健康上のリスク
- ・ 副作用が出るかもしれないことはある程度納得できるが、その副作用が効果よりも大きいとすれば、よく話を聞いてから決めと思う
- ・ 治験という治療そのものが本当に大丈夫なものなのかという精神的なハードルを感ずるようになっています。

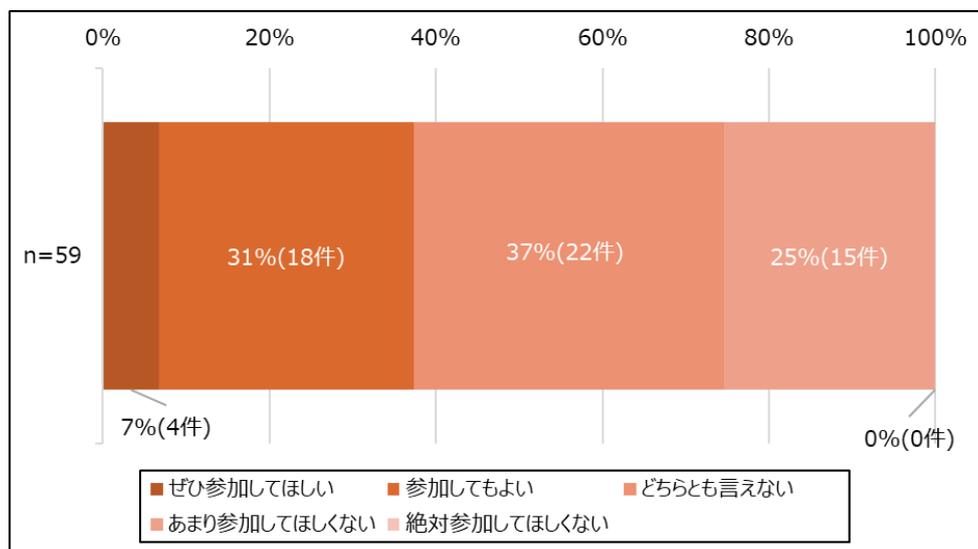
- ・ 副作用や健康
- ・ 効果が得られるか不明な点と副作用が怖い。
- ・ 健康被害が出ないとは限らないのに、自分自身に対するメリットが大きくない点。
- ・ 注射など体に負担がかかりそう
- ・ 安全性が確立されているかどうか
- ・ どんな副作用が出るのかわからないのが心配
- ・ 前例が少ないこと
- ・ 後遺症などがどのように現れるかわからないため
- ・ どうしても安全性が十分に確認されていないものに対して抵抗感と副作用などの怖さがある
- ・ 安全性が実証されていない
- ・ 認証されてない薬を体内に入れること
- ・ 安全性が保証されてないから
- ・ 治験をした際の負の面をどうしても考えてしまう。
- ・ 副作用
- ・ 悪影響が生じえないか
- ・ 副作用
- ・ もし薬によってからだが動かなくなったりしたら不安なため、安全に行えるように説明を受けてもリスクがあるのがやはり怖い
- ・ 持病があるのと、職場からの理解が得られるか不安
- ・ 周りの人の理解があるかどうか。
自分自身の健康への不安（体調が副作用により悪化するかもしれないという不安。）
- ・ 日程通りにスケジュールを組むこと。治療効果が確定されていないものを投与される不安
- ・ 安全性について
本当のことではないかもしれないが、ドラマで治験をきっかけにして患者数名が亡くなってしまうのを見たので不安に感じる部分がある。
- ・ もしプラセボだったら通院にお金かけていたら（一部負担だとしても）無駄なコストだなと感じたから。
あくまで試薬なので安全性が担保されていないこと。"
- ・ 副作用の有無。また、大半の治験は会場までの交通費が自己負担であることが多く、費用の面でもハードルがあると感じる。
（治験サイトに登録しているが、北海道や東京など交通費がかなりかかるものが多い）
- ・ 副作用などのリスク
- ・ 効果や副作用
- ・ 自分の健康にどのような影響があるか、不安。
- ・ 本当に効くのかということと、将来に副反応が出ないか。
- ・ 未知の副作用によって体調不良になるかもしれないリスク

- ・ 治験によって病態が悪化することがあるかどうか気になってしまう。
- ・ 自分自身の健康や学業への懸念
- ・ 本当に生身の人間に投与して大丈夫なのか
- ・ 体に悪影響がないことを完全に証明できないため、不安だから。
- ・ 安全性

Q10-3 (Q10-1 で「あまり参加したくない」「絶対参加したくない」と答えた方) どのようなことがハードルだと感じるか、具体的に教えてください。

- ・ 健康被害が出た時に嫌だから
- ・ 副作用のわからない薬を使うのは精神的に辛いと感じるから。
- ・ 通院や指定された生活をするのが社会人あるいは理系大学生にとっては時間的にも難しいため。
- ・ 後遺症が残る不安があるから
- ・ やはり副作用のリスクは怖いままである。
- ・ リスクがあるから
- ・ 副作用が怖いから
重大な障害が残った例も少なくないと聞いたことがあるから
- ・ 副作用が心配だから
- ・ すでに病気を患っているため
- ・ 拘束時間があるから
- ・ デメリットがあるから。

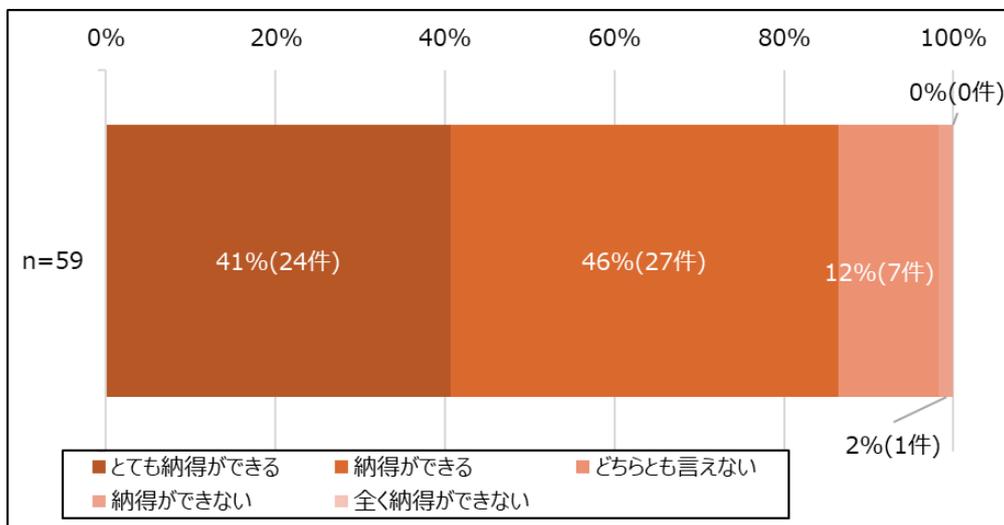
Q11 あなたの親やきょうだい、パートナーが患者の立場になったとき、治験に参加してほしいですか？



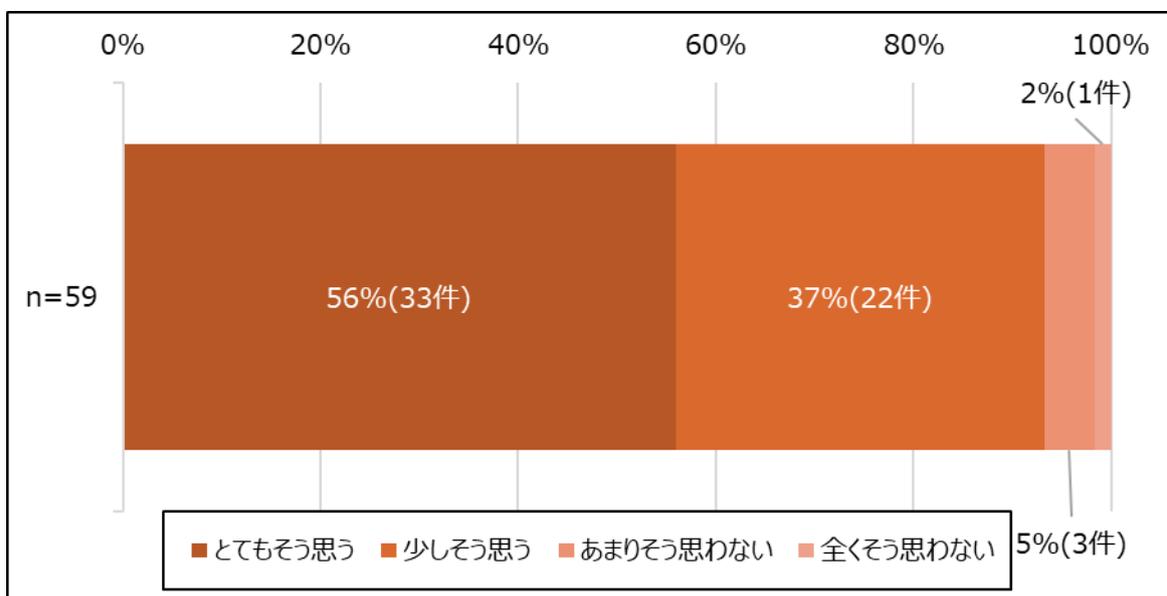
Q11-1 (Q11 で「あまり参加してほしくない」「絶対参加してほしくない」と答えた方) どのような理由でそのように思ったのかを教えてください。

- ・ 何かあった時の心配が勝るから(安全性)
- ・ もし亡くなってしまったらとか考えると嫌だから
- ・ 副作用で別の病気にかかってしまう、重症化などの可能性があるから。
- ・ 病状の度合いによるが予想外の副作用による悪化のリスクを考えると推奨したくはない。通常では治療法のないような状態であったら推奨すると思う。
- ・ 何かあると心配だから
- ・ 自分の時と同様で後遺症が残る不安があるから
- ・ 悪化するリスクや未知の作用が現れることがあれば不安だから。
- ・ 副作用が怖いから
- ・ 心配が勝つから
- ・ 予期せぬ副作用で命を落とすかもしれないから。
- ・ 悪化することが怖いから
- ・ もし、より悪くなったら辛い。(自分じゃなければより)
身体障害者のレベルがその後上がったたりなどの場合、家族が負担になる。
- ・ 万が一のことを考えると怖いから。
- ・ 確実に安全だと言いきれない危ない橋は渡ってほしくないが、それしか治療法が無い場合は家族で話し合いたい
- ・ 確実に治るかわからないし、治験の前例がなければ、悪化することも考えられるから

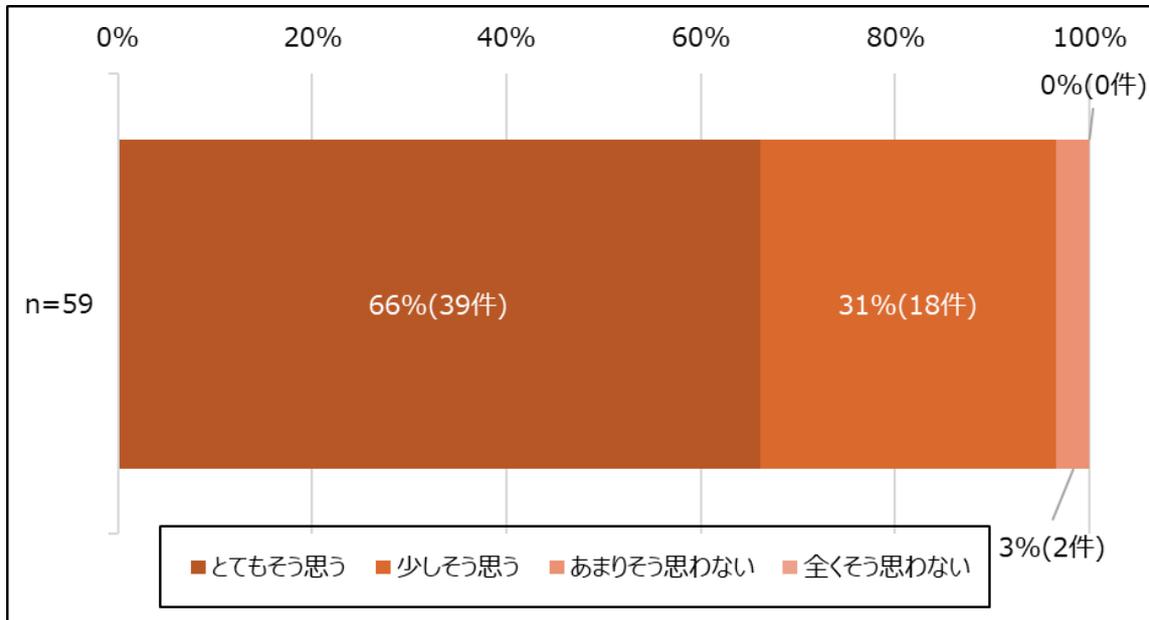
Q12 治験でプラセボが使われることについて納得ができますか？説明資料の6ページを参考にしてご回答ください。



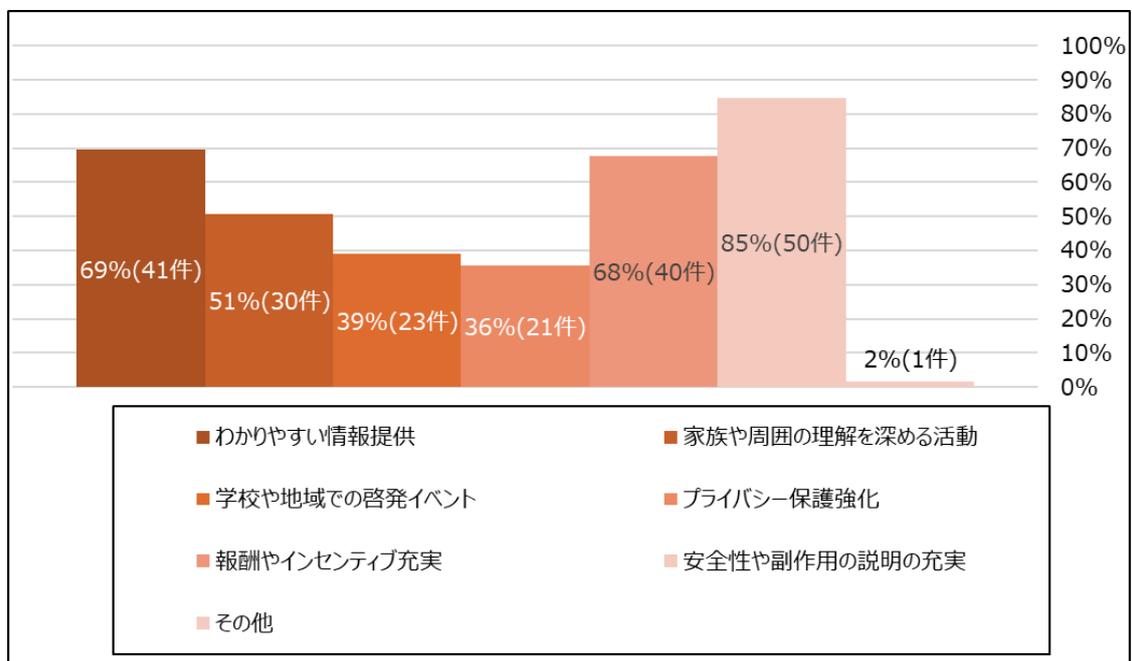
Q13 治療薬の効果などを科学的に明らかにするためには、プラセボを使うことやランダム化はしかたないと思いますか？説明資料の6ページを参考にしてご回答ください。



Q14 治験に参加することで将来の医療や社会に貢献できると思いますか？



Q15 治験がもっと普及するために必要なことは何だと思いますか？（複数選択可）



その他の回答

- ・ 健常者は別として有病者にとっては場合によっては病気が進行する貴重な時間であることから単なる報酬としてだけでなく、もう少しリターンを増やす構造になるとよいと感じる。

Q16 どうすれば同じ世代の人たちに治験のことを知ってもらえるか、アイデアを教えてください。

- ・ 治験について学校の授業等で学ぶ時間を作る(保健体育)
- ・ 薬が開発されるプロセスを学校の保健の授業で扱う
- ・ 若い人は、あまり病院に行かないけれども、家族等と一緒に病院に行った際、病院で目に触れることがあれば意識が変わるかもしれない
また電車広告やスマホに流れる広告でもよいかもしれない
- ・ SNS の広告などは一つの手手段だと思いますし、多くの人の目につくとは思いますが、私個人としては、安っぽく信頼性の低いもののように感じてしまうので、反対する部分もあります。
なんとなく同じイメージを持つのが献血です。なかなかハードルが高いけなかったものの、会社の入るビルに年に二回ほど献血カーが来るため、献血に行けるようになりました。仕事の時間中に行けることや会社の先輩と一緒に行ったことがきっかけです。治験とは少し違いますが、会社（もしくは学校など）という身近なところに来てもらうことが知るきっかけになるのだと思っています。
- ・ SNS の啓発
- ・ CM の放送
- ・ 保健の教科書に載せる
- ・ 保健の授業で取り上げる。
インスタなどの広告を出す。
- ・ 授業や講習をする
SNS などの広告で認知
- ・ 教科書に載せる
- ・ 身近な施設で受けられたらいいと思う
- ・ 学校や企業での治験体験者による講話
- ・ 分かりやすい治験募集サイトを作り(出来れば国が医療団体など分かりやすく安心と分かる団体が運営)、その周知を大学病院のロビーなどでさせてもらう。
※個人的には国や自治体のサイトは分かりにくいことが多いので、そこは専門業者にお金を払ってでも分かりやすいものを作るべきと思っています。病気で苦しんでるなか、情報を收拾するのはとても大変だと思うので。
健康な人に参加してもらう方については、大学生向けにバイト募集が1番手っ取り早いかなと思います(大学に行く献血バスにお礼付き治験のパンフレットを乗せるとか渡してもらうとか)。
- ・ ネットのバナー広告など、鬱陶しくない程度の広報
- ・ 教科書などに掲載し、授業で取り上げる。献血には行った事がないですがそのような場所にポスターを貼る。
- ・ 保健の授業でそこまで扱わなかったのもっと大々的に載せてもいいのでは。
- ・ SNS の広告に出す
- ・ 大学だと文化祭、社会人になると地域の祭りなどで、詳しく、気軽に、楽しく学べる場所があると知っ

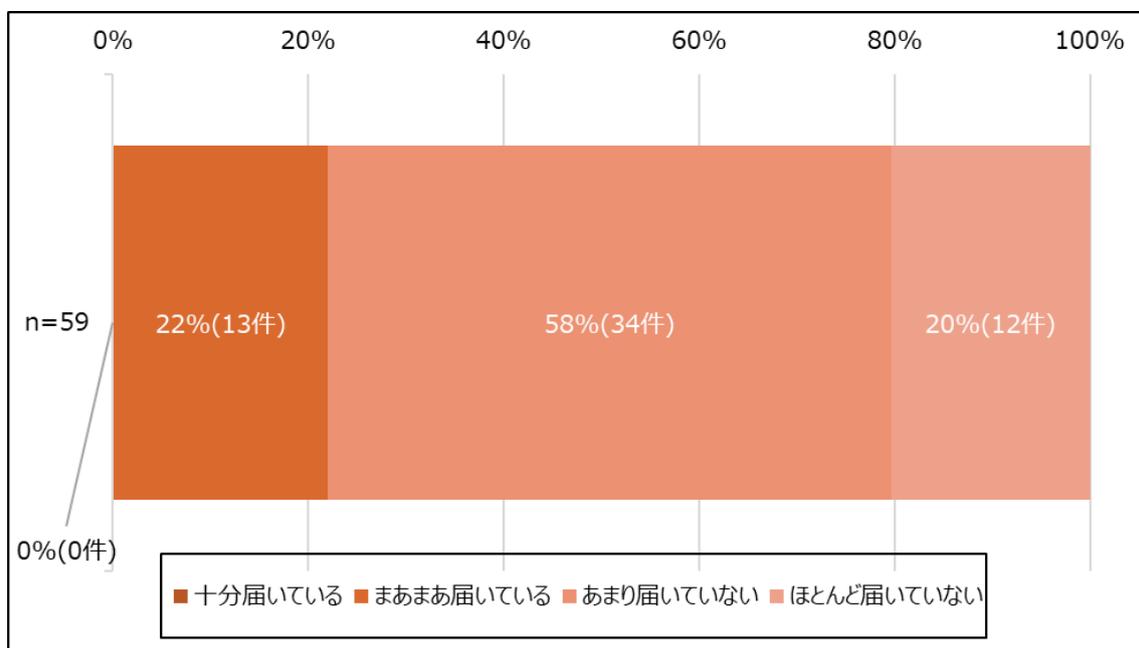
てもらえそう。

- ・ SNS とかで広報活動
- ・ SNS による広報
- ・ 学校の授業で扱う。
- ・ 短期間や拘束要件の薄い治験バイトを専門学校や大学生向けに案内する。
休職中などの人が見る日中のテレビ CM や SNS の広告で報酬やバリエーションを提示して案内する。
- ・ SNS での活動をもっと活発に行うべき
- ・ テレビ SNS 若い世代発信
- ・ 治験に関するドラマや劇を見たい
- ・ SNS による発信
- ・ 治験についてはドラマで知った。同じような人は多いと思う。ただこのような創作物だと危険性が押し出されているような気がするので、バランスのとれた説明がいると思う
- ・ 治験に参加する意義やメリットを SNS や学校・会社のポスターで発信する
- ・ SNS の広告
- ・ より優れた技術であると言う情報促進
- ・ 同世代は医療の発展に当事者性をもった必要性をあまり感じていないので、正しく知ってもらうことは難しいと思う。
- ・ 健康について考える機会である高校の健康診断のときに、治験について紹介したリーフレットを配布する。
- ・ SNS の広告
- ・ 報酬を前面に出した広告をネット上で掲載し、治験を受けるために必要な条件として治験についての知ってもらう。
- ・ SNS を用いた発信。
厚生労働省や信頼できる医療機関からの情報発信が欠かせないと思う。現在の主流は縦型動画（9:16）で流行に合わせたり、編集などで掴みを取れるようにすることが重要だと思う。
- ・ 学校の授業で治験について取り扱う
- ・ 学校の出向授業をする。
- ・ SNS での情報提供（ありふれている。）
治験のメリット（正直薬の開発が進むという話よりも副作用のリスクに対する受け取れる費用の大きさに興味がある人が多い（周りの友達との話より…））
新薬開発に対する費用対効果をアニメ化…？
- ・ 学校でリスクもだが、それよりもプラスになったことや、信頼できる理由を教える。
- ・ 日常生活を普段通り送れて、身体への負担なく過ごせるか。重い病気での治験では家族とどのように向き合えるのか詳しく知りたい。
- ・パンフレットの配布

SNS 広告の掲載

- ・ 病院、薬局にてジェネリック医薬品のようにもう少しポスターを増やす。どのような治験が行われているのか厳密な病名とは別でもう少し平易な言葉でまとめる。大学院生や大学生といった世代の特性を考えると健康診断などの学内の保健センターと接点を持つ際にパンフレットなどを配布することができる。
- ・ 医療機関でのポスター
- ・ その世代の治験者を増やす
- ・ 治験のメリットだけでなくデメリットもよく伝える。
- ・ 教科書
- ・ SNS で情報を発信する。有名人に紹介してもらおう。
- ・ 現金だけでなく景品も選べるようにすれば校則でバイトが禁止されていてもできる
- ・ SNS 広告など、自然と目につくところで告知する。自分にとって身近なことだと思わせるような広告内容、参加方法が伝わる内容（いつ、どこで治験を受けられる？どのように募集されているか）にする。
- ・ SNS のショート動画にあげる。
- ・ 様々な内容の治験がある事を SNS で発信し、いざという時の選択肢になるようにする
- ・ 広報を充実させる。
- ・ 広報に力を入れる。
- ・ ネットでの発信
- ・ わからない
- ・ 普段使う薬がどういう治験をもとに作られたかを PR する
- ・ とんだ高報酬
- ・ SNS（若い人が使うもの）で動画を流す
- ・ 学校の授業で説明する、出前授業をする

Q17 治験に関する情報は十分に届いていると思いますか？



Q18 治験について分からないことや期待することがあれば自由にお書きください。

- ・ お金がない大学生の中には、リスクよりも金額(高い報酬) = 治験と思っている人がいるようで、お金ないわ～、治験しようかなみたいな話も稀に聞きます。治験に参加するのは大事ですが、自分の身体を大事にすることや、目的に見合っているのか信頼感が持てません。貧しい学生をターゲットにしている危ないバイト的なものなのではと(闇のような部分を)感じてしまい、どうしても抵抗感があります。
- ・ よい薬を開発してくれていると思います。ですがそれが使用できるまでに数年以上かかることや、使用できてもとても高価なことが心配です。日本の製薬会社は、海外の製薬会社に負けない開発力があるのに、治験に時間がかかって、輸入に頼るしかないとなると困ります。
- ・ プラセボが必要なことは納得できますが、患者として治験に参加することとなった時、薬が投与されたのか分からないのは不安です。終了後に投与されたのかは教えてもらえるのか分かりませんが、もし治験に一途の望みを持って参加した人がいたら、希望を失ってしまうことにもなりかねないと感じました。
- ・ 薬の開発に携わる機関へ国がバックアップしてほしい。
- ・ 治験段階に至るまでのプロセスを明確に。(治験に至るまで、安全が確認されたという説明) 万が一、治験により事故が起きた際の流れ
- ・ やはり怖いというイメージが強かったですが、病気で困っている人がいるなら治療薬が必要だと感じました。治験の副作用がないこと、または少ない事がうまく伝わり、新薬の認可が早くおり、治療に結びつくといいなと思いました。

- ・ 今どんな治験がされているのか、募集しているのかなどほとんど調べないと情報が入って来ないので、もっと身近に感じてもらえると治験協力者も増える感じる。治験自体は医療の発展のために不可欠だと思うので、もっと広く告知してほしい。
- ・ 治験バイトの応募サイトを見ただけではリスクがよくわからない。副作用が予測できないとはいえ化粧品と持病が指定されている治験は性質が違うと思う。その違いが直感的に分かりやすい指標がほしい。
- ・ 自閉症の薬の開発
ASD なので
- ・ 「プラセボ」だったかが、何年後かにわかるようにしてほしい。
自分がそうだったのか、知らないままでは気持ち悪い。個人的には、それがあってあまり参加したくないと思っている。あくまで一個人の意見です。
- ・ NHK やラジオ等では新しい治験について報道しているが、（それでも認知症の治験など関心度の高いもの）民放や SNS では自分の体感だとほとんど報道されているようには思えないのもっと要請してほしい。また、学校では薬物乱用防止教室をいい意味でしつこいほど小・中・高とやっているの、少しは治験についてもやっていただきたい。（学習指導要領に治験授業を必須に）
- ・ 私は九州に住んでいます。地方では治験はしているのでしょうか。治験で救われる人、笑顔になれる人が増えるといいです。
- ・ 治験者のデータや効果や将来の医療との関係性、さらには治験に関連して助かるようになった病気などを国民に広く、そしてわかりやすく丁寧に発信すると良いと思う。
- ・ iPS 実用化をお願いします。